

「顧客志向で製造」を徹底

熱電対や小型電気ヒーター

の製造で父が創業した「町工場」に、まった

くの異業種から飛び込んだ。そこで目にしたのは、

良くも悪くも職人気質の世界。「顧客よりも作り手

中心の考え方に驚いた」と、ヤマト（大阪市平野

区）の辻井竜太社長は振

り返る。だからこそ「モノを作るのが目的ではな

く、サービスが原点。製造サービス業になりた

い」と強調してやまない。

同社の転機となったのは2014年発売の高効

率ヒーター「アルハイパー・エックス」だ。産業

技術総合研究所との共同開発で、電気ヒーターで

ありながら700度Cレベルの高温帯に対応し

た。ガスなど化石燃料に

⑧

企業あり技の街この街

よる工業炉しかなかったらまで担保する」（同）

アルミニウム溶湯の分野という顧客志向を徹底。

で電化を実現。「ガスかさらに自ら装置開発にも

ら切り替えて70%の省工 乗り出し、現在は売上高

ネにつながったこともあの8割を装置が占める。

る」（辻井社長）という。 13年に父を継いだ辻井

必要な特性さえ出れば 社長は経営ビジョンとし

良いという部品メーカーを掲げている。自身は創

の発想を脱し「ユーザーを掲げている。自身は創

の被加熱物が炉の中で業40年を迎える33年に57

ちんと温度が上がるとこ 歳で経営を退くことを明

言。あと10年足らずで、

現在の3倍となる売上高

30億円の達成を目指す。

後継者については「社長

になりたいと真剣に目指

している社員が3人い

る」とし、次世代の成長

を見守っている。

（随時掲載）



本社工場
で本格的な
事業の拡大
が実現した
装置も手狭

大阪シティ信用金庫・深尾友彦八尾南支店

長 信頼に任せ続けるモノづくりの専門家集

団として、顧客の事業に最適な効果と効率を

もたらす商品開発に力を注ぐ。「挑戦と責

任」を経営理念に掲げ、社会から信頼される

100年継続企業を目指し、社員一丸となっ

て取り組んでいます。

ヤマト

（大阪市平野区）